

花まるだより

2024
107,08

Hanamaru
Monthly
Newsletter





2024年7,8月

引き込まれる幸せ

スタンフォード大学発の通信制高校を立ち上げ、世界一の評価を得た星友啓氏と、この一年ほどで三回ほどお話しする機会を得ました。一度目は、教育界で頑張っている有名な方々との秘密の飲み会。二度目はAERA with Kidsでゲストとしてお招きして

の対談。三度目は大きなイベントで彼がモデレーターを務めるセッションの、四者での対論。その二度目でのことです。

最初にお会いしたときから、偉ぶらないところが相対的なズッコケ感を醸し出しながら私を「パイセンと呼び、語る人柄とユーモアセンス、東大は出たけれどほとんどを博打とバイトに費やして就活すらまともにやらず落伍してしまい、逃げるように渡米したという青春の挫折のあり方への（三浪四留人間としての）強い共感、一方で口から出てくる言葉の宝石感、こちらの頭を活性化してくれるパワーに、元々魅了されていたのです。そのうえで、いわゆるサシでの対話なので楽しみにしていました。

そして対談は、誌面には載りきれないほどの学びに溢れていました。一番感じたのは、私が、現場一筋叩き上げて、授業やマースクールで子どもたちと触れ合いながら日々キャッチした発見や思いを我流で紡

いでコラムにしてきたのに対し、彼はスタンフォードの博士になるべく論文レベルの知識を豊富に学んでいるので、アカデミックな視点をくれる点です。

たとえば私が、人間は「何かでできること」で賞をもらったり褒められたりすることが嬉しいけれど、「一番嬉しいのは（無条件で）好き」と言ってもらえることですよ、と言うと星氏は「pozing（存在が尊いとみなすこと）ですね」と言下に応える。私が「自分の心を俯瞰する地点から眺める目を持つことが大事」と言うと、即座に「listening（いったん外から見つめること）ですね」と反応する、というような感じですよと続けました。

そのなかで一つおもしろかったのが「やる気のエクササイズ」というものです。私が「人生で行き詰まっている人は、『自分の心を見る』ということができなくて何かと決められない」と言ったときに教えてくれたことです。心療内科の分野で使われているらしいのですが、心が落ち込んでやる気が出ないというような人に行う対処法で、まずは「飲み物があるんですけど、水にします？ ジュースにします？」と軽く二択から決めてもらう。だんだん三つ四つと選

択肢が増えていき、最後は無数の可能性のある「何をしたい？」と聞いていく、というものです。つまり、心をコントロールされたような動けない状態から、自由な意思を示せるようになる力ギが、「決める」という行為だということなのでしょう。

このことはその後、私なりに考えを膨らませるテーマになりました。そのような治療法はエビデンスベースの医学の見だし、間違いなく意義はある。しかし教育の現場に立つ者として考えるべきは、そもそも治療を受ける必要のないくらい自己回復力があり心の安定した人間を育てることだろう。その要所はどこか。

まず「決める」ということについてです。そもそも普段から講演会で「自分で決めて、夢中で、集中して、回復したこと」こそが能力として伸びるポイントだと語ってきました。その第一歩の「決める力」についてもあちこちで書いたり言ったりしてきました。どうすれば決められる人になれるか。それは自由遊戯にある。特に自由な外遊戯には先の要件のすべてが入っている。入っているところか、子どもの外遊戯を観察すると、活動している間中そのような状態を眠くなるくらい疲れるまで繰り返して

新刊情報

『夫は犬だと思えばいい。』

高濱正伸 著
(PHP文庫)



夫を犬だと思っただけで、夫婦仲が改善し、子育てもうまくいく！
親、そして家庭が変われば、子どもの成績は劇的に伸びるもの。
3組に1組が離婚する昨今において、夫婦と子どもを救う1冊が文庫本としてリニューアルしました。男女の違いを理解して夫婦仲を改善するヒントや、「メシが食べる大人に育てる」ためのアドバイスも満載です。

『14歳のときに教えてほしかった 起業家という冒険』

成田修造 著
(ダイヤモンド社)



AIに代表される技術の変化速度が増すなかで「メシが食べる大人」を目指して育てるとき、「起業家」という目標は一定の説得力を持つ。大企業もまたそういう人材を求めているのだろう。筆者は中学入試に失敗、14歳のときに父が失踪し、ほどなく母が病に倒れ半身不随に。ヤングケアラーとして生きるという逆境のなかで起業家を目指し、幾多の失敗を乗り越え、若くしてスタートアップの役員から上場までを経験した。そんな著者の爽やかに前向きな生き方が伝わる本書は、肝心なことを伝えながら平易で、すこぶる理解しやすい。

高濱の本棚

いる。「これをしなさい」とやらされるのではなく、決めてやり込むことを基本行動として満喫すること、すなわち「子どもらしく遊び込む時間」こそが、その後をよく生きていくうえで貴重なのだということだと思います。

一方で、それができない大人のありようも明確です。彼らは外付けの価値観、他人から与えられた価値観(点数、順位、偏差値、ランキング、ブランド、給与・年収等々)に囚われてしまっています。ただ心のワクワクに従って生きればよいのに、人目を気にし、まわりと自分を比較し、やらされ感で行動し、残念なコンプレックスで素直な目を歪められて生きています。

子どもたちにはそうなつてほしくない。自分の心の声をいつもまっすぐに受け取って決められる人、行動できる人になつてほしいですね。

さて、ここまで書いたとき、たまたまブツシュ通知で、あるYouTube動画が流れてきました。それは元ザ・ブルーハーツの甲本ヒロトさんが対談のなかで夢について語っている場面でした。曰く「夢を持って多くの人が言っているが、夢って取りつかれるものなのではないのか」という趣旨のことです。つまり「何か夢を持つのは大事そうだから、ちゃんと持たないとね」とか「持たなきゃいけないんだけど、決めきれないんだ」というものではなく、「気づいた

ら引き込まれ夢中になってしまっているもの」なのだということです。極めて重要なことを語っていると感じました。

彼が話していたのは夢についてですが、ここまで書いてきた「決める」ということも、その現実を観察するに、「ちゃんと決めなきゃ」とメタ認知した時点でもう間違っているというか、行動しているうちに「あれ、いつの間にか引き込まれていた」というものだろうということですね。

私の卑近な例としてもこういうことがあります。日本棋院の理事をやるくらい、囲碁が文化的にも素晴らしいという教育という面でもすごい可能性に満ちていると信じているのですが、そういう表面的認識とは関係なく、時間が空いたときに数分やる囲碁Aのサイトでの九路盤のゲームに、毎回毎回絶対に夢中になるのです。その一ゲームをやったからどうという見返りや報酬があるわけではないし、それどころかそんなひとときを過ごさなくても人生何も変わらない。なのに取りつかれている。みなさんも、特に絶対観ようという気持ちでもなく観始めたバレーボールの国際試合に、いつの間にか引き込まれていたということはないでしょうか。こういう時間というか過ごし方のカードを持つことには価値があるなと思います。

逆に言うと、先述の病んだ大人はすぐに、「他人がボールを打ったり拾ったりするの

を観たから何(いくら・得など)になるというんだ」という功利性に蝕まれた考えをしてみます。この視点に憑依されると人生のほとんどがつまらなくて無価値なものになってしまうので注意しなければなりません。

そして、思うのは、いつの間にか素直に引き込まれる人たちは幸せだし、それはご両親に感謝というか「心の型」がよく育っているのだろうと思っています。幼児期は誰でも夢中を繰り返しているのですが、学齢期近辺から徐々に「やらねばならないもの」「親や先生に褒められるもの」に価値観を占領されはじめ心を見失っていく人も多いものです。それなのに大人になつても「あ、いつの間にか引き込まれていた」という時間を楽しめる人は、きっと子ども時代に存分に遊ぶ時間を持てた人なのだと信じます。

遊んで遊んで遊び込んでこそ、迷いなく自分の心に従って生き、いろいろなものを堪能することができる人になれると思います。いよいよ夏休み。午前中の「習慣が大事」な計算や書写のような基礎学習は日課として、残りの明るい時間は汗をかきまくり走りまわり遊び込む夏休みでありますように。

花まる学習会 高濱正伸

注目対談 星友啓氏 × 高濱正伸

スタンフォード式「子どもの考える力を伸ばすために親ができること」

花まるだより 2024年7,8月号
(令和6年7月5日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
高濱正伸
発行人 久慈 葉津紀・生井 ちま
企画・編集 金井 彩・清田 奈甫
編集 坂田 翔・高橋 奈穂・平山 真康
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社



最新の脳科学や心理学から導かれた、これからは生き抜くために必須の「考える力」を家庭で伸ばす方法について語っています。

※花まる会員のID・パスワードでログインいただくと全編を無料でご視聴いただけます。



<https://www.hanamaru-college.com/videodetails.php?id=1316>

高濱が、花まるの教室長をちょっとおちゃめに紹介するこのコーナー！「タカタコ」は、高濱による他己紹介で教室長を深掘りします。2024年度のテーマは、「私の母」。各教室長が実際に自分のお母さんや家族に改めてインタビューした内容を、高濱がまとめました。



花まる
サムライ
合戦を
のぞき見



目指すは、天下統一。

～感謝や喜び、痛みや悔しさを最高の仲間とともに～



大将に立ち向かう、強い魂を!



天下統一の証
"赤兜"



其の
五

其の
四

其の
三

其の
二

其の
一



伝説のサムライ
ファイヤー (箕浦健治)

刀(道具)を大切にすべし
刀はサムライの魂であり、自分を支え、助けてくれるものです。刀(道具)を大切にできる人は、道具に込められた想いを大切にできる人であり、人を大切にできる人です。

仲間を大切にすべし
あなたは一人ではありません。あなたが誰かを想うように、あなたのことを想っている人が必ずいます。

自分自身と向き合うべし
うまくいかないこともあるし、負けることもあります。そのときに問われるのは「そこでどうするか」です。負けたのは環境や人のせいだと言いつつするの、勝つために自分にできることは何か」と考えるのか。これは人生にも通じます。「どう生きるか」を考え、決めて動くのは、自分自身です。

敬意を持って戦うべし
「天下統一(勝利)」という志はみんな同じです。ともに戦う仲間、ぶつかり合う相手がいこそ、合戦は成立します。相手を想う気持ちがあれば、「お前のせいだ!」という言葉は出てこなくていいでしょう。

ルールを守り、正々堂々と真剣に戦うべし
人に迷惑をかけたり、卑怯だと言われたりするようない方はやめましょう。それは生き方も同じです。たとえ人は騙せても、たった一人の自分だけは騙せません。

花まるサムライ合戦 五つの心得

私の母は、両親を中学時代に立て続けに亡くしたのですが、伯父夫婦にあずけられそこで大事にされました。その伯父宅には結婚後も何かと理由をつけて通っていました。父との思い出の場所は、初デートで行った上野昇龍です。私自身が覚えているのは、何かの拍子で「僕なんか生まれなきゃよかった」と言ったとき。人生で一度だけバチンとビンタされました。 | 橋本一馬・職人

大将から
刀を授かる

サムライ
合戦の
スタイル

合戦ルール

敵軍の大将をねらい、自軍の大将を守る。
戦国時代の合戦さながら天下統一を目指す!

一. 軍に分かれる

二. 軍議を行う

護衛隊(大将を守る役目)、攻撃隊(敵軍を攻める役目)など、各役割を決め、戦法を練る。

三. 準備を整える

命である紙風船を膨らませ、太ももに一つつける。
大将は陣羽織を、そのほかのサムライは軍の色のビブスを着用。

四. 合戦開始!

命である紙風船が割れたり、落ちたりした時点で失格。
合戦場の外に出て、仲間を応援。
大将の紙風船を割った軍の勝利!

ビブス
(軍の色)

大将の
陣羽織

刀

紙風船
(命)

合戦開始!

家族のために 仲間のために

花まるサムライ合戦

大人も子どもも

本気にあつて
戦い返し

※花まるグループ考案! オリジナルスポーツ(特許取得)

サマースクール

“サムライの国”
子ども宿泊企画(2泊・3泊)

春・秋企画

“親子サムライ合戦”
親子日帰り企画

お楽しみに!

次の企画は…
秋の親子サムライ合戦!

※学校や企業での実施も受け付けています。

大将の新衣装!

母は早くにアルツハイマーになった自分の父親を見るために、介護の資格まで取って毎日通い続けた熱い人です。しかし親としての激しさも尋常ではなく、姉がトイレに隠れたときにはドアを蹴破って引きずり出したし、私が悪さをしたときは(いまなら事件ですが)全裸で家から閉め出されました。トイレの窓から靴とパンツだけがホイと投げ出された光景は忘れられません。 | 柳澤隼人・アンソニー



こんげつ

今月のレインボータイム

【ダブルましかくキャッチ】

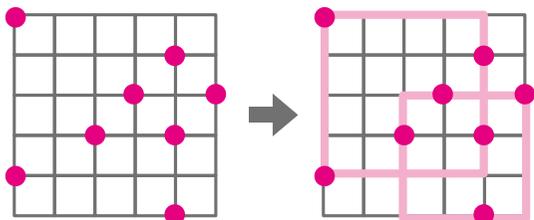
ふた 2つのましかく(□)を描いて、てん 点をすべて通りましょう。
ななめのみましかく(◇)もOKです。

さかたしろう はな がくしゅうかい
出題：坂田翔 (花まる学習会)

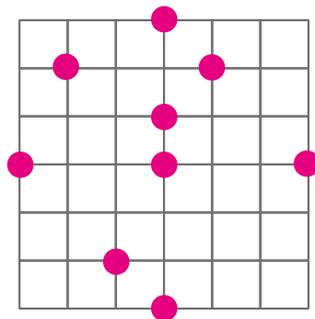


かいとう
解答はこちら！

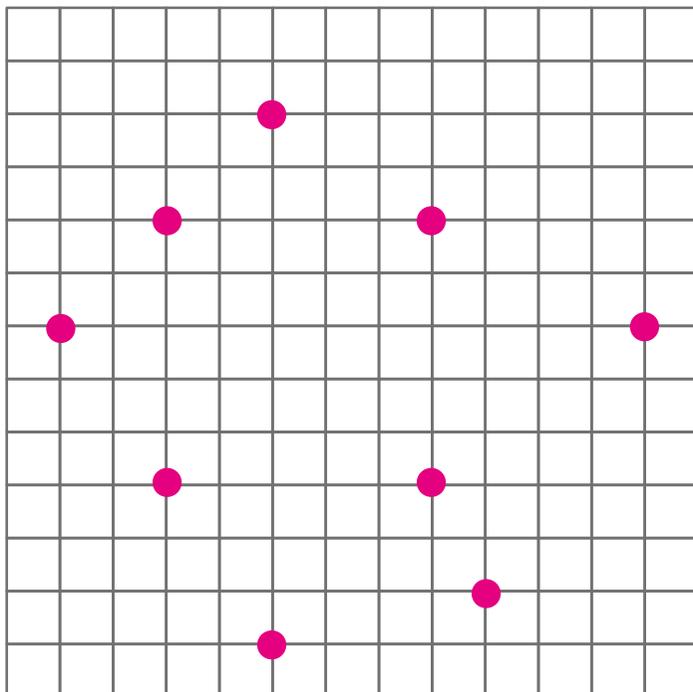
れい



レベル50



レベル99



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第25弾は、野外体験部部長の箕浦が、
伝説のきょうだいにインタビュー！【後編】

6月号掲載の
前編はこちら！



ようこそ先輩!!



橋本大樹さん

【花まる学習会】みたけ幼稚園教室（小2～6）
*担当教室長：箕浦健治 ほか
【スクールFC】あざみ野校（中1～3）
【進路】公立中学校→神奈川県立ケ尾高等学校→法政大学
【現在】会社員



橋本舞さん

【花まる学習会】みたけ幼稚園教室（年長～小3）
*担当教室長：箕浦健治 ほか
【スクールFC】あざみ野校（小4～中3）
【進路】公立中学校→法政大学高等学校→法政大学
【現在】会社員

■あなたにとって、花まるとは？

箕浦 大人になって振り返ると、花まるはど
ういうところだった？

大樹さん 花まるではとにかく楽しかっただ
けなのですが、同時に勉強していたから勉強
のイメージもよくなったというか、勉強に対
する変な先入観をもたずに前向きに受け取る
ことができましたね。

舞さん 理由はわからないけれどいつも全力
で楽しんでいたので、勉強以外のどんなこと
にも本気で挑戦したいと思えるようになりま
した。

箕 教室長として大切にしていることを教え
子がそのまま言語化してくれるなんて、これ
ほど嬉しいことはないよ。

大 花まるでの日々は成功体験そのものだっ
たし、第二の母というか、いつもうしろで応
援してくれているような存在でした。

■学生時代のこと

舞 兄も私も、中学で生徒会活動を経験しま
した。

大 中学2年生のときに生徒会長選挙に出馬
したのですが、同じく出馬した2人が学級委
員や生徒会役員の経験者だったので、普通
に立ち向かっても勝てないと思いました。でも
どうにかして選ばれるぞと考えた末に、おも
しろさを加えようと演説の冒頭で原稿を破り
捨てました（笑）。いい意味で目立って、生
徒会長に選ばれました。

箕 目の前の人を笑顔にする力と行動力、さ
すがだよ。

舞 私も兄も、卒業式で答辞を読んだんです。
箕 二人とも！

大 僕は読む前に泣いてしまいました（笑）

舞 私はギリギリまで答辞の文章を書かなく
て…（笑）。花まるで毎週作文を書いていた
ので文章を書くのに抵抗がなかったこともあ
りますが、直前に10枚くらい一気に書いて読
みました。15分くらいの長編でしたが、泣き
ながら聞いてくれる子がたくさん見えて。卒
業してからも同級生に会うと「あれはすごく
よかった」と言ってもらえて嬉しかったです。

箕 舞の想いが目の前の人を感動させる文章
になったんだね。

舞 花まるの作文コンテストで学んだ「最初
にどれだけ心をつかめるか」「出だしをおも
しろく」にこだわりました。

■花まるっ子たちへのメッセージ

舞 私の人生が大きく変わったのは、小学校
を卒業するときにいただいた高濱先生の『13
歳のキミへ』（実務教育出版）を読んだとき
でした。「なにごとも一度本気でやってみ
ておもしろさがわかる」と書いてあって、実
践したんです。初めての定期テストに向けて
FCでやってきたように本気で取り組んでみ
たら結果を出すことができました。一度でき
たらあとは同じようにやるだけでいいんだ、
どんなことでもそうやって実力に変えていけ
ると確信できました。それから、高濱先生の
本には「悪口を言わない」とも書いてあって。
それも大切にして過ごしたら人のいやな部分



に目が向かなくなったし、友達と話すぐい
い関係を築けたと思います。後輩のみなさん
にも、花まるやFCで学んだことを忘れずに
思いっきり挑戦してほしいです。

大 楽しいと思うことに全力で取り組んでほ
しいと思います。僕に楽しさを教えてくれ
たのが高濱先生や箕浦先生、講師の先生方だ
つたので、そういう大人と出会うことも重要だ
と思います。高濱先生が「思春期には外の師
匠と出会うことが大事」とおっしゃっていま
すが、本当にその通りだと思えますね。

箕 卒業後も花まるの精神を大切にしてくれ
て、本当に嬉しいよ。これからも応援してい
ます！

大・舞 ありがとうございます！



▲魚つかみに成功した
舞さん



▲川遊び後の大樹さん
高濱の書籍『思い出に残る
子どもの写真を撮る方法』
（草思社）より



あまねちゃん(栃木県)



4枚のはがきサイズの画用紙を横に並べ、セロハンテープで貼り付けはじめた娘。へびのような、電車のような何か長いものを作るのかな? とって見ていて、その画用紙を組み立てはじめました。床と屋根の画用紙をつけて……「おうち」の完成! 最初の4枚の画用紙は、おうちの壁になったのです。まさか、そんな思考に発展すると思わず、母びっくり! お手製のおうちには人形を入れて、ドールハウスのようにして遊んでいます♪

Rinせんせいよ!

平面から立体へ! 画用紙の色をすべて変えて作ったことでカラフルなおうちになったんだね。動物が顔を出して、ごはんを食べているみたいにも見えるね。作品からも遊び方からもあまねちゃんの「いま」の関心が見えてきます。あそびのなかで空間認識の力を使ったんですね。創作とごっこ遊びが地続きなのはこの時期ならではの。想像力の広がりを感じられますね。



「あなたは どうしたい?」
自分のところに向き合った
子どもたちの作品展です。



「小麦粉粘土をおうちでやりたい!」と言い出したので一緒にやってみたら思った以上に気持ちよく、いつの間にか私も夢中に。「絵の具を足してみたい」と思いきりチューブから絵の具を出した途端に色が入りまじり、「ここは緑になった」など発見をしていました。「何か当ててね」クイズが始まり、変化していく作品。考えていると「正解はカタツムリ!」と先に答えを言われてしまいました(笑)。「乾かしておくとお固まるよ」といって1時間おきに作品の固まる様子を確認していました。

Rinせんせいよ!

絵の具を入れると、まじりあう色の実験ができたんだね。カタツムリがイキイキと歩いているように見えるね。小麦粉粘土は、水を入れていく過程の感触がたまらないですね。テーブルにビニール/ゴミ袋などを置いてあげる手間はありますが、幼児期の感覚を呼び覚ます意味でも、主体的な実験という意味でもよいテーマです。うどんやパン作りが好きな子は、同じように遊びのなかで、たくさん心と頭を動かしているはず。自分の作品を大切に作る姿がかわいいですね。



あゆとくん(東京都)

今日のARTレシピ

『オリジナルキャンドルホルダー』

夏の夜に、家族でキャンドルナイトができればいいな……と思いテーマに選びました。ジャムなどが入っていたガラス瓶を使った、リサイクルアートです。

創作は、自分と向き合い、自分らしさを追求し表現すること。誰かの指示に従って、やらされてつくるものではないからこそ、その子らしさが十分に発揮された作品(その子の分身)ができあがるのです。

それを丸ごと「いいねえ」とみてもらう喜び。そんな作品ができれば、テーマ創作でも、自由な工作でも、ぜひ写真を撮って送ってくださいね。

キャンドルホルダーをRinせんせいがつくってみました! 動画は2本あります。夏の夜の点灯式を、家族で楽しんでみてくださいね。

<https://youtu.be/9gYr6VNYjus?si=0v1Q7fYpg7sNYVCo>

つくり方を
動画で
見てみよう

じゅんびするもの

- ・ガラス瓶 ・ティールイトキャンドル
- ・マスキングテープや油性ペンなど

みんなのおうちART作品を待っています!
・レシピ部門
・じゆう部門

Rinせんせいに
おっくってみよう!



Rinせんせいが
つくってみました!



こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

59

6才の夏、おじいちゃんと 虹の思い出

その記憶は、実家の玄関先から始まる。

私は祖父に連れられ、手をつないで家を出る。そんな祖父と私の後ろ姿を、母が送り出す。ふりむくと母が手を振っていた。いつもの笑顔のなかに、その表情がどこか不安そうだったのを覚えている。

初めて、祖父とふたりだけでお出かけしたのだ。当時、私は小学一年生。祖父にとっては初孫だったということもあり、かわいがられていたことは容易に想像ができる。

父母の結婚に反対だった祖父は、私の誕生により母と父を許すことにしたそう。子どもは存在するだけで、周囲に影響を与えている。何も無いところから、子どもは存在することで、幸せを生産しているのだ。

行き先は母の実家。どんな成り行きでそういう習わしになったのかはわからない。夏休みになると私ひとり、山のなかの祖母の家に行く。はじめてひとり、お泊まりをしにいくのだ。母が不安そうな表情になるのも、無理のない話である。

いくつかの山を越え、小さな坂道を上つ

た先にある祖父母宅には、大きなさくらんぼの木があって、たくさんのカタツムリや、虫の幼虫、見慣れないほどの大きなアリの行列を眺めることができる。虫好きな私には大好きな場所だった。

さて、私にとっては大好きな、よく孫に会いに遊びに来てくれる「おじいちゃん」。それなのに、たとえ大好きなおじいちゃんにも、当時の私は甘えたりできない子どもだった。

「かわいがってくれる祖母、叔母や父に對しても、遠慮したり気遣ったり、言いたいことを言えない」……幼稚園の連絡帳には、登園をいやがる私の状況とともに、母の字でそう記されていた。

超がつく引つ込み思案。そんな6歳の私と祖父とのふたりきりの車内。黙ったま目前を見て座る私。数十分のドライブ中、どうやって過ごしていたのか、その場面は霞がかかっている。

記憶に色が戻るのは、山に向かって走っていく道々、目の前の空に、突如、虹が見えてから。私の緊張が一瞬解けたすきを狙ってか、祖父は私に問いかける。「虹の色は言えるか？」と。声を出せずにいる私に「最初は赤から始まって、橙、黄色、黄緑、緑、青、その次は何かわかるか……」と話し続けてくれる。

ホッとしていると祖父の質問は続く。「ほんなら英語で言えるかなあ、赤はレッドや

なあ、橙は知っているか……？」描くことが大好きな私を知っている祖父にとっつきとこの話題なら、と話し続けてくれたのだろう。

初めての、祖父とのドライブ。祖父とふたりだけで外出したのは人生でほんのわずかしかなかったが、その記念すべき第一回が、虹の思い出なのだ。美しい色彩が重なるように、淡い色の抽象画みたいに、あのとときの記憶が私の脳裏に明るい光を残している。

孫との初ドライブをする祖父も、見送る母も、そして私自身も、心細かったに違いない。その不安をいつとき忘れさせてくれたのが、山の合間に見えたはかない虹だった。

私が8歳の春に亡くなった祖父との会話（私は話していないけれど）は、覚えていなるなかでこれが一番長いものとなった。いまでも虹を見るたびに、私の心には、あの日祖父とのドライブで一緒に見た、流れる山々と虹の色の思い出が、よみがえるのである。

この続きのお話は

アトリエラジオ#1771でも

お聴きいただけます。



Rin (井岡由美)

Atelier for KIDs



全国から
参加可能!

NEW!

おうちアトリエコース

素材セットとおたよりがご自宅に届き、お好きなタイミングで制作をします。

Zoom (授業日の午後) またはLINE公式アカウントのやりとりにて、鑑賞会も行います。

詳しくはHPをご覧ください。

参加費：1名2,700円 (送料・税込)
申込締切：7/31 (水) 19:00

『こころと頭を同時に伸ばす
A1時代の子育て』
(実務教育出版) より



8/18(日) 10:30~12:00 布に描く (親子参加可)

【対面コース】

対象 年中~中学生とその保護者
定員 30名 (お茶の水花まるラウンジにて)
参加費 1名3,700円 (税込)
申込締切 7/31(水) 19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

37

勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小4・小2・2歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



花まるの基準を、その子に合わせてチューニング

小4の長女、小2の長男をオンライン花まるに通わせています。手前味噌ながら、通わせていてよかったと思つのは、親でも学校の先生でもない、第三者の大人の視点で、子どもを観てもらえるところだなあと、思っています。

■小2長男の「あさがお」の定速観測——
文字の横に数字をふつて、好きな文字から書いていく……

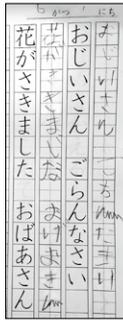


2023年4月
(1年生)

ふさげまくって書く……

2023年8月
(1年生)

書き写しではなく、創作に走る……



2024年1月
(1年生)



もちろん毎回毎回ふさぎていたわけではなく、すんなり「書き写し」ができていた日もあります。でも、それも浮き沈みあり、「やるよー」と言ってますんなりいく日のほうが打率としては少なかった一年でした。

さて、2年生。一年経ってこんなに成長しました！という報告ができたらかよかったです。そううまくはいきません。

「ずっと取り組めるようになったね」という日もあれば、



「いやー、今日は書き殴ったね」という日もあります。



正直、「書き殴った日」は、書き直しをさせたほうがいいか……と、とても迷ったのですが、今回はそのままにしました。

そう判断した背景としては、2年生になって、学校の担任の先生から「きれいに」「こめ・はね・はらいをきちんと」という基準で、たくさん赤をもらっているというものがあります。

たぶん、ここで、家でも文字に関する「直し」を入れたら、書くことがいやになるだろう。いま、いい文字を書くことを優先させるよりも、ともかく1日1ページを書き終えたことのほうを認めてあげるか」と考えると、自分のなかで、花まるを描いてあげる基準を、その子に合わせたものに、チューニングできた感覚がありました。

「チューニング」というのは、ざっくり、その周波数に合わせていく」という意味で使っています。一律の基準も大切だけれど、そのときのその子にあった基準がある。親はその基準を見つけてあげたほうが、その子自身の成長に気づきやすくなるのではないのでしょうか。ただ、どうしてもまわりは気

になるもの。そんなときは、第三者である花まるの先生にちょっと聞いてみるようにしています。(うちこの、この基準甘すぎますかね？ or 厳しすぎるでしょ？) うか？) そうする、目の前のその子の様子を見て、基準を一緒に考えてくれる。それが花まるの先生という存在だな、と思っています。

ぜひ、お気軽に花まるの教室長に声をかけてみてください。

花まる学習会 勝谷里美



数多く出版されている「むかしばなし絵本」海外の作品は自然とその国の文化に触れるチャンスなので、幅広く手に取ってみるのがおすすめ！「お気に入りの絵」の作品を探してみても楽しい選び方です。



『三びきのこぶた』
イギリス昔話
瀬田貞二 訳
山田三郎 画
(福音館書店)

アニメ絵や、かわいらしい絵の『三びきのこぶた』もよく読んでいますが、同じく、こちらの本格的な『三びきのこぶた』も大好き！リアルな結末を固唾をのんで見守りながら、話の進みも楽しんでいます。



『地頭がよくなり生きる力がつく
日本の昔ばなし25』

高濱 正伸 監修 (西東社)

お話ごとについてくる「なるほどずかん」や「ことばのちしき」が楽しい1冊。

「おむすびころりん」の話であれば、おにぎりの化石の話や「つづら」のことばの解説がついてきて、親子で楽しめます！

Kazuaki
鈴木 和明
Suzuki

味噌汁

昨年40歳になりましたが、一番の心境の変化は、健康に対する意識が高まったことだと感じています。適度な運動は以前から心掛けていたのですが、ついに食事意識するようになりました。知人から「煮干しでとる出汁が体に良い、栄養をたくさん摂ることが出来る」と聞き、煮干しと昆布の合わせ出汁をとって味噌汁を作っています。出汁の世界は奥深く、素材の分量、水に浸ける時間、火加減など、考えることはたくさんあります。とうとう妻から「味噌汁に関してはあなたに任せるわ」という言葉ももらい、さらに精進せねばと思う今日この頃です。

さて、そんなわが家には4歳のひとり息子がいます。超がつくほどのママっ子で、

言葉を発するようになってからは、何にいても「ママがいい」と言います。朝起きてオムツを替えようとすると「イヤだ、ママがいい」、ごはんを食べるときに隣に座ろうとしたら「イヤだ、ママがいい」、お風呂に一緒に入らない？と聞いても「イヤだ、ママがいい」、夜一緒に寝るのはどう？と下手に出ても「イヤだ、ママがいい」……何を聞いてもイヤだと返されるのが大半でした。ママは特別な存在だと頭では理解していても、段々と虚しさが込み上げてくる日々。いくら愛するわが子でも、こんなに「イヤだ」と否定されると、何だか自分の存在まで否定されているような、自分は父親失格なのではないかという気持ちになることもありました。

それでも家族3人の生活は続きますから、泣きごととは言っていられません。妻が息子と向き合ってくれているぶん、家のこととは自分がやらねばと思いつ、掃除や洗濯を頑張りました。それが家族のなかでの自分の役割だと割り切ってやってきました。が、「父親としての自分」が満たされていない虚しさも日々大きくなっていました。でも、自分ではどうしようもない。そうしているうちに、息子が寄ってこないことに慣れてしまったのでしよう。大事なものを見失っていることに、GWの間に気づいたのです。

GW期間中も妻は仕事で不在でした。息子の体調が良くなかったこともあり、家のんびり過ごすことにしました。息子と二人きりの時間がたっぷりある、それなら思い切ったことと彼のペースに合わせて過ごそう、と決めて一日がスタート。

まずは、レゴで遊んだのですが、完成するとすぐに息子は破壊します。「せっかくなので勝手に壊しちゃおうの？」という言葉が出かかりましたが、飲み込みました。その後、プラレール↓トミカ↓お絵描きとココロと遊びを交える息子に対し、「いまこれを出して遊びはじめたのになんで？」という思いが込み上げましたが、我慢我慢。食事のときに座る席も「今日はここがいい」と言われ、「いつもの席でいいじゃん」と言いかけてましたが、希望の席に移動しました。洗濯物を畳んでいると「お手伝いする」と言われ、「このあとまだやらなきゃいけないことが……」と思いましたが、「ありがとね」と返して手伝ってもらいました。寝る前も「もうちょっとテレビが観たい」と言われ、「もう終わり、布団で寝よう」と伝えようと思いましたが、やめました。ソファで寝転がりながらテレビを観ていると、数分後には寝息が。抱っこして布団へ運びました。

特に予定を入れなかったことで時間に余裕があったのが功を奏したのでしよう。息

子のペースに合わせて過ごしたことで、彼と呼吸が合い、心を近づけることができたように感じました。と同時に、いままでいかに息子のペースを無視して自分のペースで物事を進めていたか、ということに気づきました。息子が私に寄ってこないのを仕方がないと結論付け、いつしか私から息子に寄っていくことを諦めていたのでした。

そんなことを考えながらひとり反省していた夕食時、味噌汁を飲んだ息子が「パパが作った味噌汁、めっちゃうまい！」と満面の笑みでグーサイン。その言葉を聞いた瞬間、息子が私を父親として見てくれているのだと心から実感することができたのです。彼にとって特別な存在であり続けなければ、そう思わせてくれた息子と味噌汁に感謝です。

息子に「めっちゃうまい！」と言ってももらえるよう、今日も出汁をとって味噌汁作りに励みます。

花まる学習会 鈴木和明



～ 2024年の夏～



『雪女』
小泉八雲 作
平井 圭一 訳
伊勢 英子 絵
(偕成社)

2024年に没後120年を迎え、来年秋より放送される朝ドラでも描かれる

ことが決まって話題の小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)。彼の代表作『怪談』のなかでもひととき美しくおそろしい物語が、絵本作家伊勢英子さんによる幻想的なイラストで描かれています。『怪談』のほかの話も読んでみたい方には、同じく偕成社の短編版が、岩波少年文庫版がおすすめ。



『ニッポン第1号ものがたり』
楠木 誠一郎 著
(講談社)

自由研究のテーマ選びに迷ったときのヒントになる、おすすめの一冊！日本におけるにぎりずし第1号、ランドセル第1号、エレベーター第1号、運動会第1号……などなど。生活のなかで目にするあらゆるものの「第1号」を解説した、とっても楽しい歴史本。この一冊を読むだけで、歴史をちょっと違った角度から見られること請け合いです。



『時計坂の家』
高樓 方子 著
千葉 史子 絵
(福音館書店)

夏休み、12歳のフー子はいとこのマリカからの手紙に誘われ、母の故郷である汀館へ。「時計坂」にある祖父の家にと泊まることになったフー子は、早くに亡くなった自分の祖母、突如現れる不思議な庭の秘密に迫ります。果てしない美の世界に魅入られた人たちのてん末が胸を打つ、一級のファンタジー。函館の町をモデルにした汀館の情景も印象的。少しずつ大人への階段を上りはじめたすべての子どもたちに読んでほしい一冊。



『ポッチャマンはきみだ!』
※7月下旬発売
一般社団法人日本ポッチャ協会
(文化工房)

花まるグループも応援し続けてきた、パラリンピック正式種目「ポッチャ」が初の絵本化。ある日、車いすの少年の前に落ちてきた不思議な火の玉の正体は、「スーパーポッチャヒーロー」を探しに来たというアルマジロだった。いま、世界平和へとつながる新ヒーローの誕生物語が幕を開ける！パリオリンピック・パラリンピックが開かれる今年の夏、この本を片手に「世界のすべての人たちとのつながり」を感じてみては？



『しずかな夏休み』
キム・ジヒョン 作
(光村教育図書)

夏休み、家族と一緒に田舎に帰省した少年。犬とともに分け入った森、湖の煙めき、お日様の温かさ、家族の夕食の風景――。誰の心にもある懐かしい夏の情景、「永遠」を感じさせる一瞬の数々を、繊細なモノクロームのイラストだけで表現。近年質の高い現代絵本が続々と刊行されている韓国から、また新たな傑作が生まれました。



9月 **〈第5回〉「本×歴史 ～開催！ プレゼンバトルにシン・ノーベル賞～」**

第3回に続き、社会科教育のプロフェッショナルとのプレゼンバトル2回戦目を開催！今回は「この人にもノーベル〇〇賞を！」と自信をもっておすすめできる、「時の彼方のヒーローたち」がテーマ。誰もが知る歴史上の英雄から、知る人ぞ知る偉人まで。全国の歴史好きはもちろん、歴史についてもっと知りたい人も集まれ！

9/19(木)・9/21(土) 10:30～12:00
参加費 一家族500円(税込)
申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2024/>





高橋 大輔

花まる こうら

涙のバトン

7、8月に開催されたサマースクール。複数のコースに参加したのですが、そのうちの1コースは班を担当するリーダーとして2泊3日を過ごしました。朝起きてから眠りにつくまで、子どもたちと最も濃密な時間を過ごせるのが「班リーダー」です。一番近くで過ごす立場だからこそ知ることのできたひとコマをご紹介します。

集合場所は横浜。コースは「秘密基地作りの国」です。出発前、子どもたちは「緊張」や「不安」に包まれています。このような状況はよくあること。大抵、バスに乗って自分のホームタウンから離れるに当たって、「らしさ」を取り戻していけます。親元を離れることへの覚悟が決まり、気持ち切り替わるのでしょうか。ただ、今回のチームの変化は、こちらの想像を

超えていました。○○ゲーム、○○コンテストなど、表彰や順位にかかわるレクが始まると、一致団結。燃えに燃える班の子どもたち。勝負根性が原動力となり、バスのなかだけでなく宿についてからも勝負ごとにかんしては、連勝街道まっしぐら。2泊3日のなかで、破竹の11連勝を達成したのです。これまで数多くのコースに参加してきましたが、類を見ないほどの記録でした。

とはいうものの、部屋では有り余るエネルギーが噴出し、大小さまざまなものが起きていました。チームの合言葉は「喧嘩をしても仲直り」「さっきよりも一歩進んだ関係づくり」です。その合言葉を掲げながら、一つひとつのめんどりを乗り越え、関係性を前進させていったのです。

そんな子どもたちの空気がガラリと変わったのが、就寝前の時間です。遊ぶ・食べる・話す・笑う・ぶつかる……1分1秒を惜しむくらいギュッと凝縮された時間を過ごしてきましたが、ふと訪れた空白の時間に、ここまで蓋をしていた感情が溢れ出しました。そう、ホームシックです。「おやすみ……」と、電気を消そうとした瞬間、2年生Tくんが「ヒック……!! ヒック……!!」としゃくりあげ

るように泣き出しました。それにつられて1年生Jくんがさめざめと泣きはじめます。大抵の場合、どんな言葉を投げかけても、なかなか届くことはありません。頭のなかは「ママ」「パパ」の声色。落ちてくまで、寝入るまでそばにいてあげるだけです。その日は結局30分ほどでJくんが、1時間ほどでTくんが眠りにつきました。

ホームシックは、愛情の証明書です。それだけお母さんやお父さんを想っているということ。子どもたちの頑張る原動力・心の拠りどころはどこにあるか思い至りました。

さて、翌朝の2人はといえば「昨日の涙はどこに!？」です。何事もなかったかのようにケロリとしています。基地作りや川遊び、室内遊びに全身全霊を傾けていました。そして訪れた2日目の夜。翌日はいよいよ最終日です。すると、2年生Kくんが、部屋の隅で膝に顔を埋めています。Kくんは自分のことは自分でこなうしっかり者、仲間の様子にも心を配り、2年生ながらチームのまとめ役を担っていました。ここまで精一杯気を張っていたのでしょうか。「……ママに会いたい」ポツリと言。堰を切ったように、涙が流れました。そのとき、そっと傍に寄り

添ったのは、昨日涙を流したJくんとTくんです。Jくんは隣で手を握り、Tくんは背中をさすりながらKくん言葉にかけていました。

「僕は昨日泣いたから大丈夫。だから、Kも明日はきつと大丈夫」

Kくんは、小さくうなずきながら泣き続けました。この一連のやりとりは、時間にしてほんの1分程度。Tくんの言葉が心に沁みわたったのでしょうか。Kくんは涙を拭って布団に入り、スツと眠りにつきました。Jくん、Tくんもすぐに寝息を立てはじめました。3人も穏やかな寝顔でした。

冒頭、華々しい連勝記録のことを書きました。ただ、私の心に深く刻まれているのは、3人の心と心が通い合った、何にも代えがたいひとコマです。このような話は、子どもたちの口からは出てこない「真つ白なひとコマ」かもしれません。けれど、心の奥底に確かに刻まれているもの。子どもたちは、そんな瞬間を重ねて生きています。その場に立ち会えたこと、今夏一番の思い出です。

花まる学習会 高橋大輔



職人の 無人島

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。みなと港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

小屋づくり⑤

12月にその年の最後の開拓団が帰ってしまうと、作りかけの小屋が残った。もうしばらく島には来ない。次のコースは5月だ。それまでに、カトパンと2人で使える状態にまで小屋を仕上げなくてはならない。でも、壁面まではほぼ完成しているから、あとは床と天井を作るだけだ。——そう高を括っていた。

年が明けて2023年。雪国スクルも終わり、荒れやすい冬の海が穏やかなる隙を狙って島に渡る。さて続きをやりますかね、と最後の壁材を取り付けようとしたとき、異変に気づいた。高さが合わない。1枚目の壁の端と4枚目の壁の端が、1周まわってピッタリ合わない。一応、水平器を使いながら真横に壁を伸ばしてきたはずなのに、わりと有名なバンドが解散するくらいの音楽性の不一致、いや構造的な不一致が出ていた。横幅3mの壁に対して、使用した水平器は30cm。まあ何とかなるだろうと思っていたが、やはり短すぎたのだ。ものづくりの神は哀れな小屋ビルダーの横着を見逃してはくれなかったのだ。こうして、小屋なぞへ1第2ラウンドが始まった。問題は「無人島で3mの水平をどうやって出すか?」。

「おうおう、俺っちの3m水平器を

使えよ」「勤めます」「やっぱり必要だろ?」「レーザ水準器を買っちゃえよ」などと群がってくる安易なアイデアたちを締め出したあと、落ち着いて考える。昔の建築、たとえば法隆寺は現代の測定機器がなくても正確に建造された。正確だから1000年以上経つたいまでも残っている。ヒントは、道具よりも知恵を使っていた時代にある。いろいろ調べた結果、水を使って水平を知る技術があることがわかった。「水平」とはよくいったものである。

まず、透明なチューブ(昔は竹だったらしい)に水を入れる。するとその両端の水面は必ず同じ高さになる。このしくみを利用して、離れた2点の水平を確かめる。この方法を「水盛り式」という。終わり。これだけ原始的な道具なら、無人島でも使っているだろう。方法が決まればあとは作るのみ。後日、必要な材料を揃えて道具を作り、カトパンと2人でエッサー、ホイサと作業を進め、3月には床と屋根、おまけにドアも取り付けて、倉庫としての体裁は整った。ひとまずの完成である。いままで手伝ってくれた開拓団のみなさんに感謝である。

そのあとは、倉庫内に棚を作ったり、外壁に板を張ったり(これはコースに来た子どもたちや開拓団に手伝わってもらった)して、いまだでは小屋全体がけこう

いい感じになっている。ドアを開けて中を覗くと、壁一面にマジックで描かれたラクガキが見える。いままで小屋づくりを手を貸してくれた仲間たちが残っていた絵やサインだ。必ず目に入るような目立つところにも、何でここに?と思っような変なところにも、大小さまざまな日付や名前、絵がかいてある。完成までには時間がかかったけれど、これが花まる冒険島のスタイル。いい小屋ができた。

花まる学習会 橋本一馬 (おわり)



ついに完成した無人島の倉庫。中はみんなのサインでいっぱい。

無人島企画や最近の様子を配信中! ぜひ登録してね!



花まる子ども冒険島公式LINE

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会神奈川東北ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のミドルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。広島で2年間無人島開拓に携わったのち、現在は神奈川でキャンプ教室を企画中。



Hanamaru Family

花まるファミリー

花まるの
教室長を
紹介します!

🌐...オンライン 🍷...アルコクラブ 🍷...みんなビレッジ 🌿...無人島 ⚽...スクールFC 🌻...フロス 🎵...アノネ音楽教室

まよしつちやう じゅんぱん しやうかい たの
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに!



いのうえ えみり
井上 笑里

東京南 🌐 埼玉県



おがわりやうた
小川 凌太

千葉 東京都



かとう としむさ
加藤 俊久

関西 愛知県



かとう わたる
加藤 渉

埼玉 茨城県



きよおか ゆうが
清岡 悠河

神奈川南 神奈川県



さかた しやう
坂田 翔

東京東 山口県



たかしま なおき
高島 直起

東京南 東京都



たばた あつこ
田畑 敦子

東京東 埼玉県



みずぐち れい
水口 玲

埼玉 北海道



よしだ ゆうた
吉田 優太

東京西 埼玉 大阪府



たかほま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇 熊本県

リーダーネーム

名前

所属

出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

8月の誕生花は ひまわり

私の母は小学校でピアノをはじめ、音大を出て30年以上自宅でピアノの先生をやり続けています。兄が料理人になるほど料理好き。妹も料理好き。「食べるのが自分の役割」と言いながら育ちました。おかげで料理には情熱がない母で、姉からは「うちの嫁は料理ができない」とねちねち言われたそうです。それでも帰るたび母におおだりして作ってもらうハルマキは絶品です。||野田一樹・おさる



花まるの
教室長を
紹介します!

Hanamaru Family 花まるファミリー



🌐…オンライン 🍷…アルコ 🍷…アルゴクラブ 🍷…みんなビレッジ 🌴…無人島 ⚽…スクールFC 🌸…Flos 🌸…フロス 🎵…アノネ音楽教室

みんなの教室長も順番で紹介するよ。お楽しみに!



相澤 樹
あいざわ たつき
茨城 千葉 千葉県



青山 裕介
あおやま ゆうすけ
埼玉 新潟県



榎本 衣里
かしもと えり
中京 奈良県



小林 駿平
こばやし しゅんぺい
埼玉 長野県



斎藤 歩美
さいとう あゆみ
神奈川南 東京南 神奈川東



佐藤 達也
さとう たつや
神奈川南 東京南 東京都



高津 奈都子
たかつ なつこ
埼玉 埼玉県



高橋 駿輔
たかはし しゅんすけ
茨城 山形県



田邊 紘子
たなべ ひろこ
埼玉 新潟県



永嶋 美佑
ながしま みゆ
東京都 埼玉県



土方 日向
ひじかた ひゆうが
埼玉 東京都



廣岡 純
ひろおか じゆん
関西 兵庫県



真島 健一郎
まじま けんいちろう
神奈川北 神奈川東



松田 奈奈
まつだ なな
埼玉 埼玉県



村井 美月
むらい みづき
東京南 愛知県



山崎 隆
やまざき たかし
東京都 千葉県



渡邊 栄治
わたなべ えいじ
千葉 熊本県



高濱 正伸
たかはま まさのぶ
○○○ リーダーネーム
名前
熊本県 所属
出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

7月の誕生花は **ゆり**



私の母は綺麗な人で、その外見を引き継いだ妹は「厳しいお母さんだった」と言うのですが、私は門限破りなど自由にやる子でした。母は兄姉の4人きょうだいの末っ子で、まわりが口をそろえて「厳格」と言う祖父も、末っ子は甘やかしてしまい「歯向かうし大変だった」そうです。私たち姉妹が望むお稽古ことは全部やらせてくれ、高校生になってもバス停まで歩いて迎える母でした。| 水口加奈・しゃんはい